

意見提出者:山田議長、橋本副議長、麻生委員、井澤委員、小俣委員
金指委員、栗山委員、中谷委員、中野委員、松島委員

【議事】

1 議決事項

(1) 社会教育デーの名称について

えびなっ子ふれあいフェスタ 6票

わくわく体験フェスタ 3票

上記の投票の結果、社会教育デーの名称は、「えびなっ子ふれあいフェスタ」とします。

(2) 社会教育デーの内容について

それぞれの内容について、承諾もしくは不承諾を○で囲んでください。

ア 資料2 「2 社会教育デーの参加団体について」

承諾10・不承諾0

イ 資料2・資料3 「3 周知の方法及び今後のスケジュールについて」

承諾10・不承諾0

ウ 資料2 「4 いきいきシンポジウムの内容について」

(委員) シンポジウムの内容について(1)～(3)の内容で良いと思います。各団体からの登壇児童は、前年度教育長とのトークセッション経験児童ではないと思うので、前回同様にリハーサルの時間を十分取っていただければと思います。リハーサル前に、顔合わせ、教育長と児童の挨拶ができる時間があると緊張が和らぐと思うのですが…。

(事務局) リハーサルができるよう調整します。また、事前に質問事項や当日の流れを提示し、登壇する児童の心の準備ができるよう配慮します。

(委員) 小ホールで活動を披露される団体には内諾を得ておいた方が良いと考えます。

(委員) 各団体さんには、ゲーム性を持たせた参加型の体験を検討していただけると一層盛り上がると思います。

(委員) 野外活動や伝統文化などについては、通常の生活の中ではなかなか触れることがないと思いますので、とても有意義だと思います。あとは、参加者が事前に申し込みにより人数等も考慮できることにより、コロナ禍の中でも開催しやすいのではないかと思います。

(事務局) 以前の会議で参加団体に対して承認を得ましたので、団体には連絡済みです。また、内容についても参加した子どもが楽しめるよう、各団体に検討していただいております。

(委員) せっかくの企画ですので、シンポジウムの参観者が関係者ばかりにならぬよう（広く一般市民の方々にも参観いただけるよう）周知方法をより工夫したほうがよいと考えます。

(委員) 会場の地の利が良いので、近隣の集合住宅の方々や近くの商業施設利用の皆様にも、市内外の方々にもお知らせする絶好な機会と思います。主催者も参加者も大変だったけれど、「楽しかった！！」との出会いと体験をして、後に継げさせることをしたいです。

(事務局) 周知の方法としては、

①学校での掲示（11月中旬予定）

②学校メールを利用して保護者へ通知（11月中旬予定）

③広報えびな（1月号）、ホームページへの掲載

④各社会教育団体への参加依頼

の4点を考えています。①、②については、午前中のえびなっ子ふれあいフェスタの周知を主とする予定でいます（申込・抽選があるため）。前回の会議では、「自治会掲示板への掲示」もご提案いただきました。周知については、皆様のお知恵とご協力をお借りしたいと思います。

(委員) スポーツ団体で新体操は比較的女子が多く参加されると思います。太極拳はカンフーでどうかと思います。どんな活動も子どもだけでなく大人のサポートがあつてこそと思います。大人の方もどのような考えでえびなと関わる子どもを育てているか、活動を広げているか伺いたい。

(委員) 「その団体に所属して学んだこと」または「後輩たちに何を学んでほしいか」を聞いてみたいです。

(事務局) シンポジウムの内容については、ご意見をいただきながら検討していきます。

(委員) 感染対策として、参加者名（代表者連絡先も）を記入してもらう方がいいかと思ひます。

(事務局) 受付にて、「学校名」「参加者名」「保護者名」「連絡先」を記載していただく予定です。また、併せて「写真撮影・掲載の可否」についても伺ひ、不可の方には目印をつけていただこうと考えています。

(委員) 体験してくれた子どもたちに修了証のようなものを渡す、感想をもらうなど、体験させっ放しにしない工夫ができればいいと思ひました。

(事務局) ぜひ可能な方法で実現できればと思ひます。感想をもらひ、いきいきシンポジウムにて紹介ができると、よりシンポジウムが盛り上がるのではと思ひます。

(委員) えびなっ子スクールや小学校の行事、総合の授業などに結び付けることが今後できるとおもしろいかなと。（可能かはわかりませんが…）

(事務局) 今後、ご意見のように、社会教育と学校教育が融合し、地域が一体となって子どもたちに関わっていくことができるよう、皆様とともに取り組んでいきたいと思ひます。

2 報告事項

(1) 「第2回社会教育委員会議 書面会議結果について」

(委員) 大変な時期ですので、開催日は妥当と思います。名称も、行ってみたい、参加してみたい感があります。

(2) 「海老名市立図書館について」

(委員) 改善項目に対する取組に期待いたします。

(委員) 図書館につきましては、各種の工夫をして頂きましてありがとうございます。

(委員) 資料4の4階児童フロアの好感度は日頃の運営の成果だと思います。ありがとうございます。同p4の最後の要望は、優先順位に基づいて順番に着手すれば良いと考えますが、妊婦や障害を持っている方専用の安らげる場はあってほしいとも思います。

(委員) コロナ禍において児童の逃げ場を兼ねるフロアの拡充は大変良い判断だと思います。

(委員) 内容了承致しました。

(委員) 小4、5年生からはその後の学びの意欲につながる大事な時期だと思うので、このような学べる環境ができたことは、とても有意義だと思います。自ら行って学びたいと思えるきっかけを地域や学校で作るにはどうしたらよいか?を考えています。

(委員) 図書館の利用者については年代も様々であり、今回の小学生、中学生あたりの年代の子どもたちにとって、とても使いやすくなると思います。限られたスペースの中でどのように工夫されるかは大変なことかと思いますが、少しずつ変化させていくことに意味があるのだと思います。

(委員) 利用者のアンケートから取組、4階児童フロアの課題と改善、1階学びのエリア新設、資料増冊、絵本の拡充から本の貸し出し実績数値が最高数値となっていることを評価するとともに、利用者の期待に応える改善を今後も望んでいます。

(委員) 子育て世代や児童等の低年齢層、中学生、高校生等が気軽に利用できる環境づくりと親子の対話ができる雰囲気等を常に検証し、現状に沿う改善をしたいと思います。

(委員) 駐車場有料化により図書館を使いづらくなるという意見を聞きます。